（申請書）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日提出

**申請者及び所属等情報**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 申請者氏名 | （フリガナ） | | 生年月日 | |  |
| 申 請 者  所 属 | （所属）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（職名） | | | | |
| 所 属 先  住　所 | 〒 | 連絡先 | | ＴＥＬ：  ＦＡＸ：  Ｅ－ｍａｉｌ： | |
| 緊急  連絡先 | | TEL： | |

下記各項目にチェック（☒）してください。

本プログラムへ申請する旨、部局・事務部門へ共有済み。

※特に、雇用契約上の業務が限定されている方は、申請可否についても必ずご確認ください。

大学発新産業創出プログラム（START）内の以下のプログラムに申請中または実施中のテーマではない。

・起業実証支援、・ビジネスモデル検証支援、・大学推進型内の研究開発課題、

・SBIRフェーズ１支援（起業による技術シーズの事業化を目指す場合）

※SBIRフェーズ１支援（技術移転による技術シーズの事業化を目指す場合）に申請中または実施中のテーマは重複申請可能です。

既に起業済みでない。

※起業している場合は、既に立ち上げたベンチャーにて研究開発を行うことができない合理的な理由を明確に提示してください。

※プログラム期間中に起業する場合はJSTへ報告が必要ですので早めにご相談ください。

**申請者のこれまでの研究実績情報**

|  |  |
| --- | --- |
| 専門分野 |  |
| 本申請に関連する学術的  研究業績 | ※当該申請に関するこれまでの研究業績（主な研究論文や著書、関連の深いもの５件程度）を記載  ※研究論文・著書等については、単著・共著・分担執筆の別、筆頭の場合は「筆頭」と記入のこと |

**１．事業シーズ（申請）の内容　（公募要項　審査基準ⅰ・ⅱを参照）**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業シーズの名称 |  | | | | |
| 社会的課題及び  その解決策 | ※当該開発試作品・サービス等が必要となる背景（社会的課題・ニーズ）及び試作品の具体的な内容（機能）  ※特許化によらないノウハウやソフトウェア等に関する技術の場合は、その詳細について記載  ※専門用語をなるべく避け、多くの人が理解できる内容で記載  ※図表等がある場合は、別途添付可  【解決すべき社会的課題・ニーズ】  【提供する技術（開発品、サービス等）】 | | | | |
| 発　　明  （周辺特許を含む）※1 | 発明の名称 | 出願番号・特許番号 | 発明者 | 出願人 | 出願日 |
| ※本提案にかかる本学帰属の特許を記載 |  |  |  |  |
| ※不足する場合は行を適宜増やしてください |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| 本申請に  関わる  公的支援  制度の活用や産学連携の状況 | ※当該技術シーズ創出に関して、支援を受けた競争的研究資金、助成金などについて記載  ※当該技術シーズ創出に関して、現在実施中あるいは申請中の競争的研究資金、助成金などについて記載  　※支援を受けた競争的研究資金、助成金などが無い場合はその旨を記載  ※当該技術シーズに関して、既に企業との共同研究を行っている場合やライセンス契約等がある場合は、その状況について  具体的に記載 | | | | |

　※１：本申請と並行して発明届を提出する場合は、発明届に「PARKS起業活動支援プログラム」に申請中である旨を明記してください。

**２．事業シーズの事業化構想　（公募要項　審査基準ⅲ・ⅳを参照）**

|  |  |
| --- | --- |
| 提供する  技術が  事業化に  値する説明 | ※当該事業シーズの事業化に値する独自の価値を記載  ※例えば、   1. 社会に与えるインパクト 2. 革新的なソリューション（技術の独自性、優位性など） 3. 事業化の実現性（当該事業シーズを誰にどうやって提供し、解決するか）   ④　　収益モデル（仕入先、委託先、販売先等を含めた、ﾋﾞｼﾞﾈｽ・お金の流れ）　※顧客に関しては、項目３にて詳細記載 |

**３．顧客の評価・検証　（公募要項　審査基準ⅴ・ⅵを参照）**

|  |  |
| --- | --- |
| 想定顧客 | ※提供する技術に対して実際にお金を払う顧客を想定し、具体的な企業名や業種を記載  ※想定する顧客が顧客となりうる根拠を記載  ※将来的な市場規模がどの程度になるかを想定できる範囲で記載  ※顧客の想定が困難な場合は、その旨を記載（例えば、新規の市場を形成する場合など） |
| 初期評価  検　証 | ※当該申請の仮説を検証するため、上記の想定顧客へ初期評価を実施する上で必要となる  評価概要、評価項目など具体的な検証方法について記載 |

**４．事業シーズの実施計画と予算計画　（公募要項　審査基準ⅶを参照）**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 本申請  内容の  実施計画 | 実施項目 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 試作等の  設計・検討 | 試作設計 |  |  |  |  |  |  |  |
| 試作開発・発注 |  | 試 作 開 発 |  | ☆発注 |  |  |  |  |
| 評価準備・調整 |  | 評価項目策定 |  | 日程調整 |  |  |  |  |
| 顧客評価（立会い  試験等） |  |  |  |  | ☆立会い試験 | 評　価 |  |  |
| 検証結果  （まとめ） |  |  |  |  |  | 評価結果検証 |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |

**※別途、当該事業シーズに関する補足説明資料がある場合は、添付可能。**

**（項目１．２．３．４の内容に関連するものに限り、Ａ４用紙５枚程度までとする）**

**５．参加者リスト （公募要項　審査基準ⅷを参照）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 参加者（学外者も記載）  ※申請者以外に研究者や支援者等がいる場合は、氏名、所属、役職及び役割等について記載 | | | |
| ＃ | 所属・職名 | 氏名 | 役割等 |
| 1 |  |  |  |
| 2 |  |  |  |
| 3 |  |  |  |
| 4 |  |  |  |
| 5 |  |  |  |
| 6 |  |  |  |
| 7 |  |  |  |
| 8 |  |  |  |
| 9 |  |  |  |
| 10 |  |  |  |

※10名以上いらっしゃる場合は適宜行を追加してください。

**６．チーム状況**

今後、事業化を推進していくにあたり、チームに不足していると考える人材に当てはまるものを選んでください。

経営者候補　財務（資金計画等）　マーケティング　システム管理者　製造・生産管理

営業　法務　人事　その他（　　　　　　　　）

以　上